



議会だより

3月定例会号

令和2年4月24日発行

No.150

こうみ



町のお金はこのように使われます ②

3月議会 ー第1回定例会ー ④

こんなことが決まりました ④

議案質疑 ⑥

一般質問 ⑧

各常任委員会からの要望・編集後記 ⑱

台風19号災害 復旧工事の始まった千曲川

きかせて みんなの夢

みなさんの未来に寄り添うまちに

ように使われます

令和2年度一般会計当初予算 40億9,400万円
前年度対比9.5%増

■一般会計（修正可決）

会計名及び内訳	令和2年度 当初予算	構成割合 %	対前年度当初予算	
			増減額	増減率 %
一般会計総額	40億9,400万円		3億5,400万円	9.5
・議会費	6,836万円	1.7	△38万円	△0.6
・総務費	7億5,304万円	18.4	4,315万円	6.1
・民生費	7億5,747万円	18.5	△723万円	△0.9
・衛生費	3億3,762万円	8.2	△653万円	△1.9
・農林水産費	1億9,803万円	4.8	2,596万円	15.1
・商工費	3億7,673万円	9.2	1,607万円	4.5
・土木費	2億4,846万円	6.1	△400万円	△1.6
・消防費	1億5,992万円	3.9	957万円	6.4
・教育費	4億7,057万円	11.5	2,233万円	5.0
・災害復旧費	2億5,700万円	6.3	2億5,300万円	6425.0
・公債費	4億6,130万円	11.3	205万円	0.4
・予備費	550万円	0.1	50万円	0.0

修正内容：総務費の観光公社設立検討委託料50万円を削除し予備費に振替たものです。

■特別会計（全員賛成で可決）

会計名及び内訳	令和2年度 当初予算	対前年度当初予算	
		増減額	増減率 %
国民健康保険	5億3,000万円	△5,400万円	△9.2
介護保険	7億478万円	1,928万円	2.8
後期高齢者医療	8,014万円	644万円	8.7
水道事業(収益的収入)	9,160万円	△30万円	△0.3

令和2年第1回定例会が3月3日から3月23日までの21日間の会期で開催されました。令和2年度予算については2日間にわたる予算決算常任委員会で慎重審議を行い、修正案が出されて賛否同数となり、委員長採決により否決されました。最終日の本会議で再度修正案が出され、賛成多数で可決されました。

町のお金はこの

2年度主な重点事業

総務費

- 河川監視カメラ・避難所用大型発電機購入他（新規）**575万円**

台風災害の教訓をもとに災害対策に力を入れます。

総務費

- キャンプ場サニタリー棟新築（新規）**3,790万円**

キャンプ人口の増加が見込まれるため、増設し利便性を高めます。

総務費

- 庁舎敷地購入費**1億6,600万円**

長年の懸案事項でした庁舎敷地をJA長野八ヶ岳より購入します。

民生費

- 高齢運転者交通事故防止対策補助金（新規）**100万円**

自動ブレーキ或いはアクセル踏み間違い防止装置を取り付けた70歳以上の方を対象に5万円を上限として補助します。

民生費

- 保育所テラスゴムチップ加工（新規）**394万円**

保育所のテラスのコンクリートの床にゴムチップ加工を施し、保育環境の安全対策を図ります。

農業振興費

- 遊休農地対策事業調査費（新規）**100万円**

新規作物としてフインブドウの栽培適地になり得るか、調査・試験等を行います。

林業費

- 新たな森林管理システムの構築**300万円**

森林環境譲与税を活用し新たな森林管理システムの構築と林道整備を計画的に実施します。

商工費

- 松原湖畔周辺遊歩道の設計監理・整備（新規）**1,906万円**

重要な観光資源である松原湖畔周辺遊歩道の整備を行います。

教育費

- 小海小修繕計画**4,400万円**

南校舎の屋根の塗装や体育館の外壁、床の塗装修繕工事、バスの待合所の移設、プールのろ過機・タンク・ポンプの交換を実施します。

災害復旧費

- 宮下頭首工工事**2億4,450万円**

台風19号被害にあった宮下頭首工の復旧工事です。

主な歳入予算額

町税

町民税や固定資産税等の税金

5億8,912万円

構成割合(14.4%)

地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

16億8,000万円

構成割合(41.0%)

国・県支出金

国・県が負担するお金

3億8,015万円

構成割合(9.3%)

町債（町の借金）

主に建設事業に充てるために借り入れるお金

4億1,080万円

構成割合(10.0%)

こんなことが決まりました

令和元年度一般会計補正予算（第6号） 賛成多数で可決

2億7,958万円を減額補正 総額45億117万円

【歳出の主なもの】

●衛生費	△1,230万円
●農林水産費	△4,864万円
●土木費	△1,382万円
●災害復旧費	△2億5,350万円
●予備費	6,108万円

【財源の主なもの】

●地方交付税	1億2,006万円
●国庫支出金	△7,996万円
●県支出金	△1億6,939万円
●繰入金	△7,332万円
●町債	△8,190万円

令和元年度 特別会計補正予算（第3号） 全員賛成で可決

国民健康保険事業特別会計 4,789万円減額補正 総額 5 億4,172万円
介護保険事業特別会計 3,719万円減額補正 総額 6 億5,998万円

人事案5件、規約変更案等2件、事件議決案3件、条例案6件、当初予算案5件、補正予算案3件、陳情2件、発議3件の合計29件で審議が行われ、案件が可決・同意されました。
一般質問は、10名の議員により行われ町の考えをいただきました。

人事案

人権擁護委員候補者の推薦

篠原建吉氏（本間川）と小山由美子氏（宿渡）の2名が諮問され、全員賛成で答申しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

松本英一氏（本村）と小山知範氏（土村清水町）が全員賛成で同意されました。

小海町教育委員会委員の任命同意

篠原秀郷氏（本間下）が全員賛成で同意されました。

規約

長野県町村公平委員会共同設置規約の変更

麻績村筑北村学校組合が解散したことにより規約から除くための変更です。
全員賛成で可決

小海町と佐久市・北佐久郡環境施設組合との一般廃棄物処理事務の事務委託について

小海町の一般廃棄物処理に関する事務の一部を佐久市・北佐久郡環境施設組合に委託するためのものです。
全員賛成で可決

3月議会 第1回定例会で

事件議決

建設工事請負契約（宮下1工区）の変更について

防災・安全社会資本整備総合交付金法
面対策工事宮下1工区の契約金額を3,
927,000円増額し75,427,
000円とするものです。

全員賛成で可決

建設工事請負契約（2工区）の変更に
ついて

防災・安全社会資本整備総合交付金法
面対策工事宮下2工区の契約金額を15,
147,000円増額し74,547,
000円とするものです。

全員賛成で可決

条例改正

小海町印鑑の登録及び証明に関する条
例の一部を改正する条例

成年被後見人等の制限に係る措置の適
正化等を図るため、条例中の印鑑登録を
受けることができないうものとして「成年
被後見人」となっているものを「意思能
力を有しないもの」という記述に改正す
るものです。

全員賛成で可決

小海町憩うまちこみ拠点施設の設置
及び管理に関する条例の制定

松原湖畔の旧たぬきやを改修した「憩
うまちこみ拠点施設」の設置及び管理
に関する条例を定めたものです。

賛成多数で可決

小海町移住体験促進施設の設置及び管
理に関する条例の制定

親沢の民家を改修し整備を進めてきた
「移住体験施設」の設置及び管理に関す
る条例を定めたものです。

賛成多数で可決

小海町雇用定住促進住宅の設置及び管
理に関する条例の制定

新田住宅は貸付内容や条件が公営住宅
法に基づかないため改めて本条例で定め
るものです。

全員賛成で可決

小海町松原湖高原観光交流センターの
設置及び管理に関する条例の一部を改
正する条例

観光振興及び誘客促進のための減免規
定を明確にするものです。

全員賛成で可決

小海町営住宅管理条例の一部を改正す
る条例

公営住宅法等の改正に合わせ入居資格
や条件、その特例について簡潔な表現に
するものです。また家賃の決定について
認知症の方など収入の申告をすることが
困難な事情があると認められる時は入居
者の収入やその他の事情に応じて決定で

きるように改正するものです。

全員賛成で可決

建設工事請負契約（新田住宅）の変更に
ついて

建設中の町営単身者用雇用住宅につい
て工期を令和2年4月30日までに延長す
るものです。

賛成多数で可決

陳情

●廃プラスチック処理料・運賃値上に伴う補
助金の増額に関する陳情書

小海町北相木村農業用廃プラスチック
適正処理推進協議会会長 篠原 富男
JA長野八ヶ岳小海支所
支所長 新津 正幸

●医師養成定員を減らす政府方針の見直し
を求める陳情書

長野県医療労働組合連合会
執行委員長 小林 吟子

議員発議

●小海町議会議規則の一部を改正する規則
について

地方自治法の改正に合わせ、議案の提
出者を現在の2名以上から1名以上と
するもの、また現状に合わせ起立によ
る表決から挙手による表決に改正する
ものです。

全員賛成で可決

●医師養成定員を減らす政府方針の見直し
を求める意見書

●新型コロナウイルス感染症対策に関する意
見書

全員賛成で可決

議案質疑

令和2年度一般会計予算

Q 農林水産費補助金「強い農業の行担い手事業」とは？

A 新規就労者支援事業で農業用の機械や施設を導入する経費の一部を補助するもので上限は300万円です。

Q 河川の監視カメラ設置工事、維持管理費は？

A 監視カメラは本村、直売所の裏、本間、松原湖の計4か所を考えております。降雨時、暗い中、河川が増水して避難に繋げなければならぬ時に危険を伴わずに確認できるよう設置します。維持管理は当面職員が行います。

Q 非常用発電機の設置場所、電気の使用目的は？

A 今回の避難所の反省から川西、川東それぞれに避難所を設営することとなり総合センターと保育所に設置します。15kW程度の電気が発電できます。

Q 空家対策事業の弁護士費用とは？

A 本間の崩れかけの特定空家の相続人の整理の為に依頼します。

Q 新たな移住体験施設の改装費用が計上されているが？

A 令和元年度に親沢地区に移住体験施設を整備したので、2年度は大畑地区を予定しています。各集落に1軒くらいずつあれば移住にもつながると考えています。

Q じろ倶楽部業務委託料とは？

A 子ども達に自然体験を提供しているNPOです。地域おこし協力隊制度を利用し、事業を推進します。

Q 起業支援補助金とは？

A 地域おこし協力隊が3年の任期を迎えるにあたり、起業を支援する補助金です。隊員の桑原君は民泊事業を、菊地さんはヨガ等を提供し、起業していく予定です。

Q 駅前再整備検討調査費とは？

A 現在の駅舎は農協が撤退し空きスペースになっております。駅舎と周りの商店街の再整備、活性化のための委員会を立ち上げ、総合的に検討していきます。

Q 社協への支援について？

A 今年度から社協へ5ヶ年計画で毎年1,000万円支援します5年で再建できるようしっかりとした計画を立て進めて参ります。

Q 公園の整備調査費とは？

A 長期振興計画のアンケート、子育て支援計画のアンケートの要望から公園を整備することとなり、今年度は調査研究をします。

Q 遊休農地調査費とは？

A ワイン用ブドウ栽培を考えており、その調査費用です。

Q 八峰の湯の防犯カメラ設置工事とは？

A 駐車場を中心に5台程度設置します。駐車場の接触事故や防犯の観点から設置します。

Q 防災マップ作成とは？

A 令和元年度は宿渡、本間の2か所作成しました。令和2年度以降も2か所か3か所ずつ作成していきます。

Q 小海小学校電子黒板9セットとは？

A 令和元年度に2セット予算措置し、2年度は更に拡充し、各学年や理科や英語などの教科にも行き渡るようにします。電子黒板、パソコン、書画カメラで1セットとなっています。

議案質疑

- Q** 令和2年度の小海小学校修繕計画について？
- A** 南校舎屋根の塗装、バス待合所などを修繕する予定です。
- Q** 美術館館長と公民館館長の報酬について？
- A** 美術館長も公民館長も会計年度任用職員となり任期も1年ごととなります。
- Q** 管理職手当について？
- A** 会計年度任用職員制度に伴い、会計年度任用職員の報酬も上がります。一般職の超勤の上限を25%アップします。それに伴い管理職手当も25%アップします。
- Q** 庁舎の敷地購入について？
- A** 今まで役場庁舎敷地はJ A長野八ヶ岳農協からお借りしていたわけですが、今年度予算で買い取ります。
- Q** 新田住宅の繰越明許について？
- A** 住宅は完成しましたが外構、駐車場について繰越事業とします。
- 令和元年度一般会計補正予算（第6号）**

第1回定例会の審議中賛成多数で可決された議案

(○は賛成 ×は反対)

(議員氏名)	古谷 恒晴	渡辺 均	井出 幸実	井上 一郎	小池 捨吉	有坂 辰六	篠原 伸男	篠原 義從	的埜美香子	井出 薫	新津 孝徳	鷹野 弥洲年
(議案名等)												
議案第6号 小海町憩うまちこうみ拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	議長職
議案第7号 小海町移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
議案第11号 令和2年度一般会計予算の修正案	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	
議案第11号 令和2年度一般会計予算の修正案を除く原案	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
議案第16号 令和元年度小海町一般会計補正予算（第6号）	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
議案第19号 建設工事請負契約（新田住宅）の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

- Q** 憩うまちこうみ拠点施設設置及び管理に関する条例
- 総務委員会での質疑**
- Q** 施行規則に使用申込、使用承諾書とあるが使用後は管理料を納付するようにとのことだが。
- A** 拠点施設は公の施設として運用します。使用とありますが、これは単に「この施設を使う」ことを意味し、使った場合には一部負担として管理料を頂きます。
- Q** 使用料許可を出さずなら使用料徴収条例を作りそこに明記すべきでは。
- A** この施設は公の施設として、主に憩うまちこうみ事業の体験や、憩うまちこうみの協定企業がテレワークなどするときに使います。なので使用料徴収条例には当たらないと考えます。
- Q** 憩うまちの協定企業にしか貸さないならばその設置条例を作るべき。または憩うまちの拠点施設で使うならそのこと賃貸契約を結んだらよい。
- 総務委員会採決**
賛成1名、反対4名で否決されました。最終日の本会議で賛成多数で可決されました。

問 町民の、町民による、 町民のための水力発電を!

答 町長 水力発電事業は賛成だが、スポンサーが必要



渡辺 均議員

問 19号台風で多くの方が避難を強いられました。この事態をどのように受け止めますか。

町長 町始まって以来の出来事で、重く受け止め、川西の総合センターと川東の保育園を避難所に設定、非常用発電機を配置します。また集落で防災マップを制作し、防災意識を促します。CO₂削減は、自助努力も必要で、それを促すのが町政です。

問 水力発電は、担い手があれば協力する、としているが

そのような理解で宜しいか。

町長 水力発電には賛成だが、10億近いお金を使つての事業は町民への平等な配慮に欠ける。スポンサーがあれば協力できる。今、2社が名乗りを上げ、1社から丁寧な調査結果を頂いている。町単独で進めるつもりはない。

問 発電事業で地域の元気を引き出すために、地元資本で地元主体の組織を作り、地元主導で事業を行う。これを町民の、町民による、町民のための水力発電と呼ぶ。ソーラ

ー発電で固定資産税は町に入るが、事業収益は入らない。国は、地域の自然を生かした小規模発電事業を地域振興型と称し、調査・研究の支援を用意している。私は、運営会社の設立を進めたいと考えています。佐久穂町では200万円を町が出すようだが、どう思ふか。

町長 小海原のソーラー発電では、固定資産税が3400万円です。建設や管理のお金も地元に着いていく。佐久穂町の取り組みは判らない。水力発電は最低でも5億とか10億の金が必要で、20%は大きな金額です。ペイするに20年以上掛かる。自分達で、というのは理想だが、現在を生き抜くには、私の考えでは厳しい。

問 町に何億ものお金を出せ、と言つてはいない。運営会社の資本金の一部である、この事業では、作った電気を地元でも使う。スケートセンターや八峰の湯、美術館、あるい

は施設園芸用の熱源などに使っている。重油代などで外にお金が出ている。これを町内で循環させる。調査、研究について理解と協力を得たい。

町長 どういった意味の協力か、判りません。良いことに協力しないという気はありません。



山梨県都留市 小水力発電所

元気くん1号
流量：最大2.0m³/s
常時0.77m³/s
有効落差：最大2.0m
出力：22kW
43百万円

問 町民は納得しているだろうか？

答 町長 歴史・文化を創り健全財政に努めます



小池 捨吉 議員

問 スケートセンターについて今年度の概算で6,780万円の経費がかかり、長期振興計画では前期5力年の予算は4億3,500万円です。町の歳入比率からみてセンターの維持継続、財政は大丈夫ですか。

町長 スケートセンターの運営をしていけるのかと言う質問ですが、ご承知の通り文化を創っていくということでおとすれば継続するつもりであります。財政的には計算をして計画してあります。

問 燃料費ですが毎年1,200万円前後かかっております。化石燃料に頼らないCO₂を排出することのない水力発電、太陽光発電を利用することを提案しますが。

町長 常につきまってくる初期投資という部分について町の大きな負担にならないことが見えない限り厳しいと思います。

問 スケートセンターを維持するために大きな費用を使っております。広域の援助を受けることはできないか。

町長 私も町長になり疑問もありません。決して理不尽なことではないと思います。特に南部広域では利用度が高い佐久穂から上、2町4村の首長にお願いするつもりです。各町村とも議会があります。多少の時間と機会を与えていただきます。

問 私の独断と偏見、極論ですがスケートセンターを広域で受けてくれるなら無償譲渡しては。

町長 まさに唐突で始めて出された案です。私の中に全くそういった考えがなかったもので、整理させていただきたい。厳しい問題が相当あると思います。

問 国道141号線、八那池・銚掛間ナナズ付近に押しボタン式信号機、又は横断歩道の設置は出来ないか。

産業建設課長 設置については近隣に学校があること、40人以上の歩行者の有無等の条

件がありハードルは高いが要望は県に上げていきます。

問 ナナズ付近にバス待合室の設置を要望します。

産業建設課長 バス停については交通政策審議会等で審議していただければと思っております。



大勢の選手が集まる町長杯スケート大会

問 馬流活性化事業は？

答 町長 調査研究させていただきます

一般質問



篠原 義従 議員

問 今年駅前再開発の検討委員会の立ち上げに伴い、馬流が置き去りにされることについて懸念しております。そこで渡した馬流区の活性化について質問したいと思いますので、よろしく願います。最初、去年まで町の駐車場として借りていた旧馬流劇場の跡地利用について伺います。

町長 ご指摘の土地は小海の一等地であることは承知しております。しかし、30年度8月の臨時会、全員協議会におきまして町から購入したい旨を議会に提出しましたところ、

利用目的のない土地は買わない方が良く、のご指摘を頂き購入を断念しました。

総務課長 今現在この土地の所有者と他の方と売買に向けて話を進められているところですが、町が介入することは無理な状況です。

篠原議員 時が経てばどのようなチャンスが巡ってくるかわかりません。チャンスが巡ってきたらひとつよろしくお願ひ致します。

問 今空家になっている旧昇

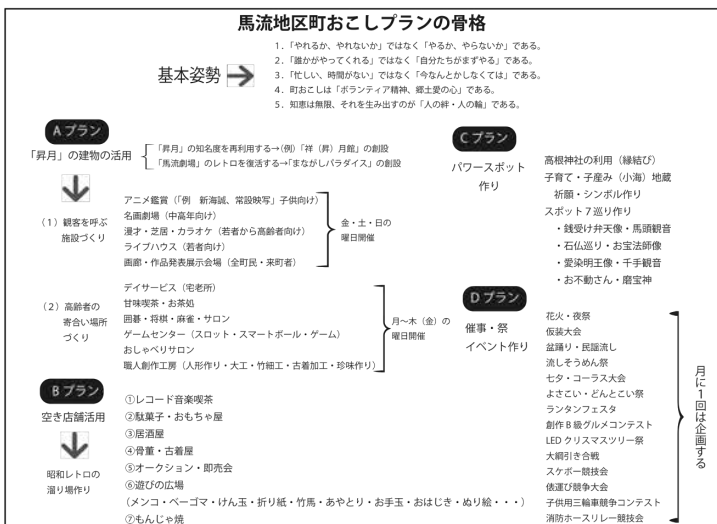
月さんの利用についてお尋ねします。お年寄りの娯楽施設を作ったらと考えますが町の考えをお聞かせ下さい。

総務課長 旧昇月さんの建物につきましては以前から取得したかどうかの話は度々持ち上がっています。権利関係などハードルの高い問題があり町でも今のところ手が出せない状況であります。

篠原議員 なかなか難しい問題もあるようですが、利用するチャンスが巡ってきましたら馬流活性化のために考えて頂きたいと思ひます。

問 私は前の議会で一般質問で町加工直売所の冬季間の品不足を町の温泉施設の廃湯でハウスを温め栽培したらと提案した件、検討していただけたでしょうか。

町長 篠原議員より先程いただきました馬流地域おこしプランの基本姿勢は私も素晴らしいものだと思っております。挑戦する意気込みを忘れないというところは基本にありますので現実となるべく方向で調査研究致します。大変心強い意気込みを感じさせていただきました。



問 集落へ町営住宅の建設を

答 町長 要望多ければ集落への町営住宅建設を検討する



新津 孝徳議員

問 令和2年を迎え、コロナウィルス問題が世界中に蔓延しようとしていて、東京オリンピックパラリンピックの開催の年でもあります。先の見通せない今日であります。不安の多い現状の中にも、町では第6次長期振興計画が発表されました。併せて昨年の台風一九号の被害からも復興しなければなりません。町長の施政方針の中にも二〇四〇年の目標人口三〇五〇人と設定二〇四五年は二七〇〇人という数字もありますが、町長はじめ私たち議員も、少しでも一人でもこの設定より多

くしたいと思っっているのではないでしようか。町の中心部への町営住宅の建設は、基本的な考えであることは理解できますが、山間地で集落の荒廃をどこまで抑えられるか、活性化対策も含めて町長に伺います。

町長 集落への町営住宅建設について町長の考えをお聞かせください。

集落機能の維持が難しくなっている集落が増えていくことは認識しております。その地に町営住宅を建てて新しい皆さんがそこに住み集落

が元気になればと考えています。このような要望が多くあるようでしたら検討して参ります。

新津議員 町政は町民の要望に答えることが大事です。必要としているところに必要な物を作る。これは集落の人々に希望を与え新たな団結を生むのです。ぜひ検討し実現に向けてほしいと思います。

問 南町の雇用促進住宅について。若い人達がこの住宅全室に入り四月からスタートできる。考えただけでも嬉しい気持ちになります。定住の促進、人口増に繋げていかなければなりません。これに合わせ町でも駅前再整備と町民の集える公園作りも考えているとのこと。雇用促進住宅とセットにして若い人達を中心に今後の町の起爆剤となるような環境整備をしなければなりません。

町長の考えをお聞かせ

ください。

町長 駅前整備等を含めた中で若者が定住できるような施策を広げていく。議員の皆さんにも画期的な意見を出していただき一緒に進めて行ければと思っております。

新津議員 小海町として夢の持てる住宅施策をお願いしたい。



4月から入居開始となった小海町雇用定住促進住宅

問 18歳未満の免税は子育て支援で

答 町長 必要性はあろうかと思います。慎重な姿勢で



井出 薫議員

国民健康保険税は協会けんぽの1.8倍

問 町は令和元年度から、多子世帯支援事業で子育て世帯の経済的負担の軽減を始めた。実際負担はどうなったのか。

町民課長 世帯数で15世帯、人数で23人が対象となり、補助前の所得割合は11.29%補助後が10.52%となり0.77%の減です。

問 15世帯23人といっても所得階層が様々ある。建設国保、医師国保も対象になっている

ので資料づくりも研究して頂きたい。今18歳未満の子供たちに均等割り課税をしないという町村が増えてきている。町でやればどうなるのか。

町民課長 18歳以下では、世帯数57、109人が対象となり、均等割り額が132万6700円です。所得割合が10.74%、補助した場合9.92%となり0.82%の減となります。

問 18歳未満の免税は、子育て支援という形での応援です。町長は必要性を否定されない

と思いますが、お考えを。
町長 よく私自身もわかりますので大変貴重な意見として承っております。

生ごみは燃やさない

問 新クリーンセンターへの可燃ごみ搬入について最初の予定量を超えた部分は自家処理をと聞いたが。

町民課長 令和3年度から搬入を開始します。29年度を基準に超えた量は各町村で処理をと言われている。

問 新クリーンセンターは生ごみも可燃ごみとして受け入れるということですが、佐久穂町も御代田町も生ごみは燃やさないということで、別の施設に出しています。佐久市でも臼田に生ごみの堆肥センターがあり残していくようです。

この施設、だいぶ余裕があるということですので、小海の生ごみ受け入れが可能かと

か、受け入れてもらうにはどうしたらよいかなど相談をして頂きたいと思うが。

町長 画期的な提案を頂いたと思います。慎重に町民の皆さんの意見も聞きながら検討したいと思います。

井出議員 生ごみの自家処理、堆肥化等で大幅なごみの減量化を目指す、長期振興計画でもなっていますので努力をお願いいたします。



佐久市に建設中の新クリーンセンター

問 給食費の無償化に踏み切ってはどうか

答 町長 無償化する考えはありません



的埜 美香子 議員

問 今、国際的な流れは飢餓や気候変動、災害などに直面し、政治も企業も自治体も市民社会も消費者も、皆変わらなければならぬ。そのことをSDGs（持続可能な開発目標）や国連「家族農業の10年」などが求めている。気候変動に対する取組をどのように進めて行くつもりか。

町長 一番の要因は化石燃料による二酸化炭素の排出が非常に懸念されている。電気自動車EVの推奨、自然エネルギーの活用を見越した八峰の湯の在り方等々鋭意努力して

いきたいと考えております。

問 食育基本法を生かした食の大切さの教育が町民に対してどれくらいされてきたか、又これからどのように進めるか。

町民課長 現在町では第2期の小海町食育推進計画を策定しており、教室や健診、食育活動、栄養指導、栄養相談など町民に対して食の大切さというものを伝えるよう努めております。

問 第3期食育推進基本計画

の中に地産地消推進を1本の大きな柱にすることを提案したい。日本の自給率は37%と過去最低で輸入農産物による食の安全性の問題、牛肉や豚肉の成長ホルモン剤、遺伝子組換え農産物とセットで使用量が増える除草剤グリホサート、日米FTA交渉でゲノム編集食品など人体への影響が心配される。こういったことは加速度的に進めているのが安倍政権です。早く方向転換しないと取り返しがつかなくなる。身近なところで食料が賄えるように小さな農家も支えて、農地を減らさない、町民の健康にも大きくつながる。そういう軸をしっかりと町が政策として掲げることが大事ではないか。

町民課長 小海の伝統的な食文化の継承という見地からも、学校や地域で食育活動の協力、地産地消の推進といった文言を計画の中にしっかりと入れていきたいと考えます。

問 子育て支援を更に進める

為にも近隣に先駆けて給食費の無料化に踏み切ってはどうか。

町長 令和元年度から半額にさせていただったので私の今任期中はその辺で留めておきたい。無償化する考えはありません。



こうみ農業塾 ほうれん草圃場

問 昨年やらなかった防災訓練、今年は

答 町長 9月1日（火）か6日（日）に実施します



古谷 恒晴議員

問 昨年やらなかった防災訓練について今年はどのようにするのか。

町長 令和2年度に9月1日火曜日もしくは6日日曜日を設定し、町内全地区、それから南部消防署、小海町消防団、佐久建設事務所、佐久地域振興局など関係機関と連携して実施したい。訓練の想定としては昨年度の台風十九号の検証を踏まえ、非常招集、災害対策本部の設置、情報収集、連絡体制、安否確認、避難、避難所の設置、避難所の運営、救急、救護、それから備蓄品

配給等々を振り返り、多岐にわたり各関係機関と調整し決定していきたい。

問 特に重要視され、今回行う訓練の重要な点を挙げて下さい。

町民課長 避難所につきまして、川西だけでなく川東にも設置していくこと、各地区の避難所を防災マニュアルを見直し確認をすること、ホームページで情報・伝達を又、区長・隣組長を通じてスムーズに情報の収集・伝達のできる体制を考えていきます。

問 防災計画の具体的な策定は、いつ出来上がり、どのように町民に知らせるのか。

町民課長 計画書は4月中旬に作成し、ホームページなど何らかの形でお知らせしたいと思っています。

古谷議員 9月に町民全員が参加して実施できるように企画を練って頂きたい。

問 「君の椅子」とは。

町長 生まれてくる子供に対して「生まれてきてくれてありがとう」という気持ちを込めて椅子をプレゼントするという企画です。

問 この「君の椅子」という企画に小海町として参加するのですか。

町長 ぜひ参加していきたいというつもりです。



日頃から防災への備えを

問 妊婦の医療費助成制度の創設を

答 町長 町でも積極的に進めて参ります



井出 幸実 議員

問 妊婦が風疹にかかると胎児に影響がありますが町での予防対策は

町民課長 妊婦検診は14回まで無料受診でき、その際に風疹の抗体検査分も含まれています。妊婦の予防接種は胎児への影響のために、本人は予防接種ができませんので、妊婦に抗体がない場合には、配偶者の方・家族の皆さんに対して予防接種をすることになります。現在、国におきましては、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた方を対象に風疹の予防接

種に対する補助があり無料で受けられます。

問 今は出産年齢が高まっています。妊婦の合併症リスクも高まっていると指摘されています。妊婦にはマイナートラブルがあり、その上、妊娠初期にはホルモンの急激な変化で精神的に不安定な上に、体調もすっきりしないと言われていています。妊婦への医療費補助制度を実施している町村は県内で6町村に留まっていると言われていますが町として少子化対策・子育て支援の一環として、妊婦の外来診療

補助制度を町長の英断をもって実施していただきたい。

町長 小海町としてもこういっただことは取り組むべき案件であると思いますので、積極的に進めていきたいと思っています。



親子で仲良く（子育て支援センターの様子）



ハイハイの赤ちゃんから保育園に入園のお子さんまで



問 高齢者の外出等の意欲に 電動カートの普及を

答 町民課長 事故防止・安全対策を講じた上、検討します



井上 一郎議員

問 高齢者の外出や移動生活を保障する手立ての導入、また、高齢運転者に対し、誤作動防止装置への補助について、近年全国各地で高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が多発しています。町長の施政方針の中で、事故防止対策補助として、70歳以上の方を対象に装置取付に5万円の上限額とし、本年100万円の予算を付けていただきましたが、これから高齢者運転免許証返納者は増えていくと思えます。この事業への増額又、継続についてお尋ね致します。

町長 高齢者の踏み間違い事故が多発しており、事故を起こした場合は双方が非常に悲劇であることを痛感しており、事業の申込が多ければ、それなりの対応を取らなければと思っております。

問 運転免許の自主返納ですが、車がないと生活に支障をきたす人も多く、町ではこれに対しタクシー券の発行等で優遇措置を行っているがその利用状況は。

町民課長 運転免許の自主返納者に対してタクシー助成金

を1年間に12枚を5年間無料で交付しています。利用者は平成29年度30名、平成30年度16名、令和元年度2月末現在で25名となっております。

問 「免許証を返納しても自由な生活、活動を保障」について返納により行動範囲が狭まり、その為によるひきこもり等を防ぐ必要があります。外に出ることが高齢者の健康管理、また寝たきり予防に大切で、外出といった自立的な活動意欲を削がないためにも、高齢者の足の代替としてゆっくり動く電動カートの普及を提案します。個人で購入する場合30〜40万位です。大変な額です。上限を決めて補助するか、町で一定の台数を用意し月極のリースとし不要になったら返還するといったことはいかがでしょうか。

井上議員 高齢者の方が明るく楽しい老後を過ごせ、ひきこもりや、事故のない生活が送れますよう、ぜひ検討をよろしく願います。

電動の車いすをお貸ししています。自己負担はリース料の1割から3割です。事故防止、安全対策を十分に講じ検討します。

町民課長 介護保険で



免許返納後の足となるか、電動カート

問 ICT教育を推進、4年生にタブレット贈呈

答 町長 それは児童の成長に不可欠だが重い提案です



篠原 伸男 議員

職員研修は毎年

接客等を実施すべき

問 町長は公約に職員の人材育成教育を挙げ、100万円予算計上している。しかし、電話の応対や来訪者への挨拶等は如何ですか。

町長 私の感想では、職員の電話対応はできていると思います。

問 職員によって、対応がまちまちです。町は交流人口増の町政をしている。又、町民が主役ですから予算100万円の

うち、身近な接客は毎年研修すべきではないか。

町長 町内外の皆様にもそういう指摘があれば改めなければならぬと思います。

問 小中学校で、生徒・児童一人一人にパソコンが配置されるのは何年度からですか。

教育長 国の補助制度が明確になり、6月定例会で補正をお願いし、今年度から順次進め、令和5年度までには一人一台になります。

デジタル化時代に

対応し得る教育を

問 小学校4年生からプログラミング教育が始まりICT教育が本格化します。しかし、学校ではパソコンを自分専用で使えますが、家庭ではできないケースも生じ、パソコンに馴染むのに差が出ることを危惧します。そこで4年生になったら、タブレットを町が贈呈したらと考えてますが如何お考えですか。

町長 大変重い提案と拝聴しましたが、具体化するのに当たりましてはご協力お願いします。

問 緊急事態の発生により学校が一斉休校になっても学校からのライブ配信での教育ができ、子供が孤独になることも避けられます。児童30人でも40万円以内の予算で済みます。全国に先駆けた教育を実践するのはどうでしょうか。

町長 重要でかつ重い提案と

して受け止めますが、検討はします。

篠原議員 かつて、小学校のタブレット教育を視察した時、家庭でタブレットに慣れた児童は対応が大変早く、その差を感じました。是非、前向きに取り組むことを要望します。デジタル化が進む今日、時代を先取りした教育環境の創出は小海町の児童・生徒の将来に必ず役立つと確信します。



各常任委員会からの要望

総務産業常任委員会からの要望

● 条例の議案提出はしっかりと調査研究されたい。
○ 町長

今回お願いしました条例案につきましては事業の性格上、事務方も十分研究もし、県の行政係や弁護士にも相談のうえ上程致しましたが、残念ながら委員会におきましてはご理解いただくことができませんでした。今後はしっかりと調査研究をし、ご納得の頂ける説明ができるようにして参りたいと思えます。

民生文教常任委員会からの要望

● 新型コロナウイルス感染症対策として、より細かく正確な情報収集を心がけ町の各部署でより迅速な対応ができるよう努められたい。
○ 町長

この件につきましては国や県からの正確な情報を迅速に収集し、高齢者、障がい者等に対し十分配慮した上で町民の皆様の不安を和らげるため、防災無線、公民館報等を活用した上で積極的に正確な広報を実施して参ります。

予算決算常任委員会からの要望

● 町消防団各分団の詰所について、立地条件や台風19号災害の検証も踏まえ、危険個所等を改めて確認の上、計画的に修繕、新設等を実施されたい。
○ 町長

各分団の詰所につきましては、立地条件や危険個所等を改めて確認し、将来を見据え必要な施設については、計画的に修繕や移設等を検討して参ります。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は 6月開催予定です

議会ではどんな発言をしているのか、またどんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越し下さい。



詳しくは、**議会事務局**
電話 **0267-92-2525**
にお問い合わせください。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の拡大が大問題になっていきます。感染拡大を防ぎ、命と健康をどう守るか、中小企業・自営工商业者や日雇い労働者など社会的弱者と言われる皆さんのくらしと営業をどう守るかは重大な問題です。

3月定例会は、第6次小海町長期振興計画「チャレンジ2020」が定められ、最初の実施年度である令和2年度の予算審議でありました。

審議時間が足りず、時間内に終わらない日も何日かあり熱心な議論がされ、最終日には令和2年度一般会計予算が一部否決されてしまいました。

当初予算が、一部否決されたのは、記憶の範囲では初めてのことであり、町長の責任ある対応が求められております。

(編集委員長)	井出 薫
編集責任者	鷹野弥洲年
編集委員長	井出 薫
編集委員	有坂 辰六
編集委員	井上 一郎
編集委員	渡辺 均

